

日三十月一



定額一ヶ月五拾圓 郵費五圓
廣告料五號十二字第一行金五拾圓
日曜日の翌日休刊
發行所 常磐宮日新聞社
印刷所 常磐宮日新聞社

陣中想出話 (三)

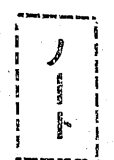
平町出身
歩兵第九聯隊 水野重光
第三中隊

空腹行軍

○上等兵ビコラ「と
して小隊の最後尾を蟻がは
うやうにして歩いて居る、
○上等兵の疲れ切つて居
る姿を振り返つて
A二年兵「オイ何んだ往生
か」
○上等兵「ウーン豆を買
ひ過ぎてさあ」
A二年兵「大丈夫か満洲は
豆が安いからね」
○上等兵「今少しだから
大丈夫だ」
と元氣だ
B二年兵「分隊長殿床尾技
が少し悪いですか」
と平氣なもの
○上等兵「テウラ〜兵
器の修理物は何時出るか
なあ」
B二年兵「分隊長殿轉螺器
があります」
然し疲れ切つてゐる兵士は
それでも元氣だつた、冗談
を語りながら前進部隊の後
を追ふて進んで行く満洲特
有の紅い夕陽は西の丘に半
を沈ませて輝いてゐる、芒
は起々と吹く風に靡ひて誰
もが故郷の空を偲はれる日
であつた、今日で行軍も四
日目だなあ、疲れ切つて居

る處に空腹が加勢して元氣
な兵士も愈々話しもやめた
してゐる、突然
A二年兵「誰か腹を膨らす
機械を持たんか」
C二年兵「今頃そんな良い
機械があつたら俺れがこ
んなにひころ〜して歩
いて居かへ」

紹介状に
は被紹介
者の經歷
性行や自分の關係係
などを明瞭に丁寧に認め
一度読み聞かせるか若く
は開封のまゝ被紹介者に
渡します被紹介者はそれ
を見ると封じて先方
に持参します
A二年兵「そうかなあ」
と云ふ
○上等兵「ビコラ〜
しながら八時過ぎるんだ
ぞ、いつ部落に着くんだ
らう」



紹介状に
は被紹介
者の經歷
性行や自分の關係係
などを明瞭に丁寧に認め
一度読み聞かせるか若く
は開封のまゝ被紹介者に
渡します被紹介者はそれ
を見ると封じて先方
に持参します

童話詩 冬



栗原 北斗

冬は北から
やつて来る
霜や時雨に
乗りながら
紅葉木の實を
まきちらし
密柑りんごの
山越えて
冬は野山に
呼びかける
北の海から
冬空から
雪やみぞれや
こがらしに
鳥や童子を
追ひこんで

二明日の献立二
【朝】みそ汁―さつまい
ねぎ
【晝】煮り卵の花―ねぎ
海老 生姜
【晚】煮びたし―たら 大
根

と私語つてゐる
○上等兵愈々疲れ路旁
に石でも落す様にどかんと
イヤ驚く程の力を入れて腰

を下ろした、煙草一本吸ひ
ながら「甘い物は遠慮しな
いでをれよ」然し兵士は無
言で笑ひ續けて居た。

民謡 常陸の海

磯崎 幸吉

潮の目に泌む
常陸の海に
けふも迷ふて
濱千鳥
風に吹かれて
啼いてゐた

風は潮風
さ霧風
舟もみえずに
潮曇り
木村外科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平南町(電話一七〇番)
大和田醫院

豫告中の發賣品は、
満洲の味と〇印を！どぞ御試食下さい
御一人前 十五錢
出前迅速

せせせ會堂
電話六三三番

金銀高價買入
質札は(金時計指輪類)有利に御相談致します
平町二丁目(三幸堂跡)

根本時計店
電話六〇七番

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

胃腸病薬の王座をひる純漢法薬
松前 靈効散(無効返)
ホントに北海道で出来た靈薬が着荷致しました。
今迄のは福島市内で製薬したので兎角の批評があり
ましたが今度のものは真正のもので奏効確なもの
です。服用しなくては其の眞價が判りませせんから、皆
様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて
下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病
に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下
さい。クセにならず根治致します。小児用の靈効散
も出来ました。
定價 試用分(八日分) 輕症用(廿日分)
重症用(四十五日)
販賣部 地方代理店 阿康藥舖
電話四四番

又々ウチワ豫約期が来ました
本年のウチワ・扇子は諸掛のか
ゝる外來品より、注文に追加に
萬事便利にて、製品及價格に自
信のある山久へ！是非一度御
用命を
山久團扇店
前局町屋紺平
番九〇四(呼)話電
庫在富豐器子硝塩子菓
一タスポ・一ダンレカ

平乙女の腕で出来上る町産品
内科 醫學博士 難波 陸
電話五〇二番

太平生命外務社員募集
身体強健 眞面目な奮闘家を求む
入社希望者は左記に申出でられたし
平町二丁目地球堂内
太平生命保險株式會社
磐城方部事務所

磐城方部事務所

凱旋の殿軍

けふ平驛を通過

寒風を突いて大歓迎

昨報一多門師團凱旋部隊として常磐線通過の殿りとなつた歩兵三旅團司令部、歩兵四聯隊等の將兵は今朝五時五十分長谷部旅團長指揮のもとに平驛着また森尻聯隊長の指揮する四聯隊本部及第二大隊の將兵は午前十時十八分平驛に到着寒風を突いて驛頭に迎へた平町各種団体學生等の手厚い歡迎裡に各々無事原隊へ凱旋した

平驛前の廣場

歡迎の人波に埋る

昨日歸郷の郡出身十餘名
萬歳に送られ家路へ

輝く武勳を現し若松廿九聯隊を除隊となり昨十二日午後三時五十三分平驛着列車で歸還せる郡下出身兵十餘名は驛前廣場に於いて郡下より參集した千餘名の大歡迎團に迎へられ直ちに廣場にて青沼平町長の祝辭を受け除隊兵代表玉川村出身山野邊清君が謝意を述べ終つて山崎在郷軍人郡聯合分會長の發唱で萬歳を三唱し夫々記念品を贈られ散會出身地に向つたが驛前廣場は人波を以つて埋められ近年にない賑ひを見た

生徒等の

盛んな

歓迎迎を

平町各中等學校及び平町各小學校全職員は市内の郷土教育資料集を作成すべく調査中の處此程調査を全部済したので整理委員を擧げ内容の吟味字句の修正等をなす事になつたが各校

害復舊工事のうち小名濱豊間兩漁港の改修工事は小名濱三萬圓豊間三萬五千圓の工費にて着手し目下兩港共陸上護岸工事全部竣功したので近く海底の浚渫作業を行ふ爲め新たに小名濱四

農礦業の知識を

併せて授く

平商が今學期から

平商業學校にては今學期より農業及び礦業の知識を授ける爲め四學年に對し農業大意五學年に對し礦業大意を教授する事になつたが教諭は新田繁氏である

石城對双葉の試合

兩郡武徳會の剣道部

石城武徳會剣道部では來月中旬頃を期して双葉郡武徳會と對抗試合を行ふべく計畫目下選手の選考中であるが兩軍の選手は三百餘名に及ぶ模様なので盛會を豫想されてゐる

機關庫主任異動

平機關庫主任弓野丑吉氏は今回埼玉縣大宮機關庫主任

郷土資料

調査を終つて

材料を整理中

平町各小學校全職員は市内の郷土教育資料集を作成すべく調査中の處此程調査を全部済したので整理委員を擧げ内容の吟味字句の修正等をなす事になつたが各校

總會の

下準備

けふ議案審議

石城町村長支會では既記の如く明日午前十時より平町役場會議室に於いて總會を開催するので本日午後一時より同所に評議員會を開き總會の議案として町村豫算の編成の件其他を協議した

収入役の改選で

山田村紛議熾烈

石城郡山田村収入役小野末吉氏は昨年十二月十七日を以て任期満了となつたので後任選舉の村會を二回開いたが小野氏再選派と前村議鈴木保造氏推薦派とに對立して猛烈な暗闘を續けて居るので未だ決定しないと

調停法實施され

民事々件激減

平區裁判所に於ける今年に入つてから本日迄の民事々件受理件数は督促五十件、訴訟二十件、計七十件にて競賣申立は一件もなく昨年の同期競賣十一件、訴訟五十二件、督促百三十八件、計二百一十一件に比較し頗る減少して居るが之は臨時債務調停法が實施された爲めである

平町人事

回出生

△長橋町四八 當時廣島縣御調郡三原町字三原川角五郎氏二女淳子
△田中町二 水井庄之助氏三男三郎

上田科醫院

平町 南町 電話二一九番

江戸前料理 合巻

奇なべ はなべ 鳥なべま
ありなべ かきなべ
▼出前! 迅速! ▲

錦

水 電話四五四番

破魔弓と羽子板を

陳列致した

御子さまの御祝から

三十二年の不景氣魔を破り?
三十三年の景氣を羽根上ぐる?
○是非御子様の御祝盛に致しませう

スガノヤ提灯店

平四丁目(電話九五番)

吸入用酸素 純度 99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

寒暖計

体温器

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内藥局 電話四〇番

吉田眼科病院 電話六八番

猛烈な接戦を演ずる

町村議の改選

郡下の日割決定

五月廿八日の小川が皮切り

今年四年目毎に執行される郡下各町村議員選挙に當つて居るが代議士選挙の前提として政民共にかこぶを入れ火の出る様なツバセリ合ひを演ずる五月廿八日の上下小川をトツプとして六月末日迄郡下三十四ヶ町村に選挙の渦を巻くその日割は左の如くである

- △植田六月十九日△勿來
- 七月四日△上遠野六月五日
- 日△入遠野六月十一日△川部六月廿七日△平五月廿日△飯野六月一日△夏井六月七日△高久六月五日

集金拐帶

酌婦を連れて

埼玉縣南葛飾郡早稲村字川口自轉車業原田英雄二男博(三)は去る十日午後四時頃親から命じられた集金四十餘圓を拐帶豫てより馴染み

本郡出身の

草野副参事歸省

大野村で満蒙事情座談會

石城郡大野村出身滿洲國漢安縣副参事草野又治郎氏は近く墓參の爲め歸省するとのお知らせがあつたので村當局では時節柄氏を中心とした満蒙事情座談會を催す事に

入學試験

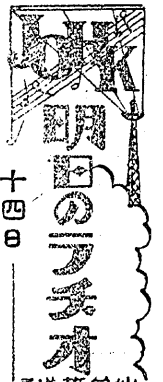
問題は昨年通り

各校募集人員

平町各中等學校に於ける本年度入學試験は来る三月二十七日より三日間執行されるが問題は昨年の通り算術讀方、地歴、理科、修身の口頭試問及び筆答試問にて募集人員は着中二百五十名平商百名、着女二百名願書締切は各三月十五日である

坂田氏回復に

二丁目金物商坂田榮助氏は胃腸病で一時は重態であったが東京にて治療の結果経過頗る良く目下自宅に於て静養中であるが間もなく回復するに至るであらうと



明日のラジオ
今夜は北風の風強
く晴れ明日は曇り時々晴

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 唱歌と童謡 JOAKK 唱歌隊
- 後六、二五 国立公園特別講座「大雪山」北大教授農學博士柄内吉藏
- 後七、三〇 多門師團凱旋

歓迎の夕(第四夜)凱旋歌と管絃樂 宮城縣師範學校合唱團
後八、〇〇 御國淨瑠璃「牛若君東下りの段」石巻町鈴木幸龍
後八、二〇 箏曲「凱旋」外 佐々木松波外
後九、〇〇 連續講談「淺野三勇士」第一席 一龍

- 齊貞山 後九、四〇 全國ニ「ス」氣象通報 番組預告
- 明日の部 前一〇、三〇 家庭講座「現代生活と香道の實際」西山宗居
- 後〇、〇五 管絃樂「三曲」東京ラヂオオーケストラ
- 後二、〇〇 婦人講座「社會立法に就て」三松岡花子
- 後四、二〇 大相撲春場所「第二日目」
- 後五、三五 受驗講座「國語」丙海弘藏
- 後六、〇〇 子供の時間

劇とお話「豊太閣祭」金成音楽童話會
後六、二五 国立公園特別講座「阿寒とその環境」林常夫付小唄二題銅路市藝妓連中
後七、三〇 講演「我が國の産業に就て」渡邊俊雄
後八、〇〇 ビアノヴァイオリン二重奏「ソナタニ長調作品」七モギレフスキレオンシロタ
後八、三〇 御國淨瑠璃「若君東下りの段」鈴木幸龍
後九、〇〇 連續講談「淺野三勇士」第二席 一龍齊貞山

磐女生の服装を

一部分改正する

父兄の負擔にならぬ程度

磐城高等女學校にては來年度より生徒の服装を改正すべく委員を擧げて考究中の處昨日委員會を開いた結果靴のカ、ド及びバンドの一部分を改正する事になつたが一般父兄の負擔を伴ふ程度のものではないと

平裁判たより

- △平町南町五十番地砂利商吉田政吉(ニ)及び好間村大字上好間字大關二十七番地荷馬車靴業渡邊程二(三)の兩名は賭博をなし程二は罰金三十圓政吉罰金二十圓に本日各平區裁判所に於て略式命令を以て處分された
- △双葉郡木戸村大字前原九番地農關本眞壽(三)は舊臘十三日同村關本久八郎を火箸で毆打し去る八日平區裁判所に於て傷害罪として罰金二十圓の略式命令に處せられたが本日不服とあり大嶺辯護士を代理人として正式裁判の申立をなしたので

陳列品が

何者かに盗る

石城郡内郷村字平太郎雜貨商山崎政方で昨十二日午後五時頃家人の留守中に店先に陳列して置いたゴム長靴三足と自轉車を何者かに窃取され直に平署へ届出した

店先の

- △回職を求める方
- △牧場雜夫 二十九才 高卒 給料面談(東京市某)
- △雜夫 三十八才 高卒 給料面談(平町某)
- △大工 二十七才 高卒 給料面談(田村郡某)
- △商店雜役 二十七才 高卒 給料面談(會津郡某)

常磐日報

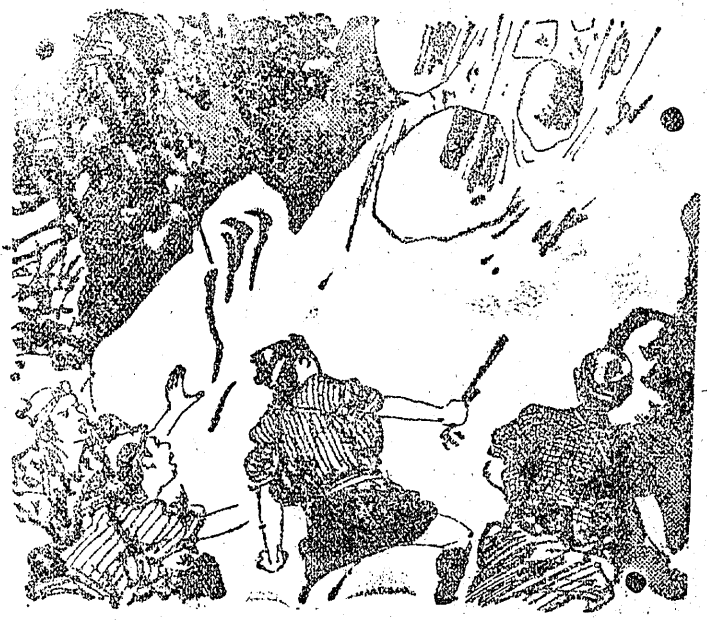
【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百四十二席 平手造酒

勢力奔命に疲る

銚子の陣屋にて七助が勢力の忍び居る所を役人に告げた、尤もこれは痛め吟味にかゝり勢力には済まぬ事とは知りながらその苦痛に堪へ兼ねて白状した、役人の隙を窺ひ陣屋を脱け出してその夜金比羅山に居る勢力にこの事を告げたそれゆゑ勢力富五郎ももうこれまでと覺悟した、果して翌日飯岡の助五郎が捕縛となつて目明し又は八州役人と與にこの金比羅山に取詰まる、七助の白状によると山には四五十人鐵砲を持つて籠つてゐるとの事、さすれば注意して成るべく怪俄人の出来ぬやうにと用心して進み行く、ワアツとトキを作り勢力始め山に居る者の氣勢を挫くこれが方便、しかし山にゐるは二人



榮「親分、大分賑かになつて来ました、今迄は鳥の聲より他に聞いた事もなかつたが久し振りで人間の聲が聞えます」
富「身體を見せるナ、立木の後に隠れてゐる、それに裏山に用意して置いたあの石を目明しが来たら投げつけろ」

音を立て、落ちて来る
△「石が来たぞ用心しろ、アー危ねえ〜」
と云つたがその石の爲に進路が塞がり中途まで来たがもう行くことは出来ない、それに鐵砲を持つた者が五

ます」
誠「イヤ鐵砲を用ひることはなるまい、これが無叛人にて山に籠りし者ならば武器を用ゐるも宜しいが、高が博徒である、それを捕へるに銃を片けた、とあつて

十人もゐると聞いてゐますから一層氣味が悪い、只ウアツと聲を揚げるばかり折しもズドンと響き渡る銃聲バラ〜と弾丸が飛んで来たド〜ンバリ〜といふ音、鐵砲だぞ〜といふと崩れ立つた、表口へ廻つてゐた勢力は樹木木の影に身を潜めて近寄る目明しに弾丸をあびせた、これが爲めに目明しは進むことが出来ぬ一旦麓へ引返したが、八州役人中山誠一郎の許に來た助五郎

は我々の恥辱、其内には弾丸も盡きるのであらう、又食糧も乏しくなるに相違ないさすれば彼等は自然と山を下り繩を受けるであらう、それまでは成るべく彈丸の届かぬ所まで參つて彼等の氣勢を挫く爲め今にも押寄せの様にトキを作れ」
助「左様でございますか、しかし何分飛道具を持つてゐる者を相手にすることではございませぬ、此方もそれに敵することの出来るほどの得物を用ひずばなりませぬ」
誠「それでは半弓を用ゐる鐵砲はならぬが、矢を飛ばす分には宜しからう」
助「左様いたしましたせう」

と是から子分に云ひ附けて弓を集めることにしたが鐵砲と違つて弓を持つてゐる者は少い、それゆゑなか〜集まりませぬ、中山誠一郎は勢力の境遇に同情してゐるしかし逃すことは出来ない役目としてす〜置けない、一日も早く押へねばならぬさりとて罪人にするも不憫、親分繁藏の仇を討ちたいと長い間助五郎を狙つてゐる、ところがどうしても討てない、果ては金比羅山に籠りこの多勢を相手に闘ふことになつた、しかし目明しは山に登らず中ふくまで来てトキの聲を揚げて今にも攻めかゝるやうに見せる、勢力は榮助と與に立木の後に隠れて銃を發し目明しを手近に引付けて狙撃するつもり、ところが彈丸の利く所まで進みませ

ん、それに此頃の銃は鐵の彈丸で遠くには飛びませぬよく飛んだところで命をとるほどの効力はない、内に次第々々に食物も乏しくなり又彈丸も盡きて来たその上身體も疲勞する相手は新手を入れ替へては押寄せざるもらば二人今は奔命に疲れて只神經が昂奮するばかりで身體が利かなくなつて來た

印刷物の御用命
常磐日報印刷株式會社
電話三六〇番

市原醫院
平町 田町
電話一四四番

旭硝子株式會社製品
赤菱印 板ガラス
製造賣販
硝子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

家庭温泉御案内
日本一の湯草津の源泉に化學的操作を加へたる
草津温泉の素 家庭風呂に外用に！
心地よく温まり絶対に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。
冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其の消毒用として特効あり。
定價 二〇〇瓦入 五分 五十瓦 二五〇瓦入 凡 十二日分 一圓
六〇〇瓦入 凡 三十日分 二圓
其他浴場用旅館用大徳用あり、試用分無代進呈いたします。：煙突掃除樂も販賣致します。：石炭の御用命と共に是非御使用を御奨めいたします。
海岸線 石炭商 伊藤軍二商店
平町一丁目電話三四九番
代理店 販賣元草津温泉研究所營業部
特約販賣募集 各町村一ヶ所に限る御申越あれ
特に御相談に應ず。

年始 年末
御贈答品
磐城名産
鯉節漬
魚問屋
最優最良 大日本 生本 命平 代理店
志賀 丁四 目
榮 橋三一電